

# 親から子どもへ 受け継がれていく朝のラジオ体操

活動の名称 元氣もいもい屋仁っ子

団体等の名称 屋仁校区子ども会

## 活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園  保育所  小学校  中学校  高等学校  中等教育学校  特別支援学校  
 児童館  公民館  図書館  PTA  子育て・教育支援団体、NPO  企業・事業所  
 病院・保健所  早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会  
 行政（教育委員会）  行政（保健・福祉部局）  行政（その他の部局）  
その他（ ）

## 活動の概要

### ◆ 活動の概要・目的

40年以上も前から、青少年の健全育成と基本的な生活習慣の確立を目的として、PTAや子ども会育成会が中心となって、朝のラジオ体操に取り組んでいる。現在は、長期休業中だけでなく、それ以外にも日曜日を除いて毎日この活動を実践している。体操終了後は、ボランティア活動等にも取り組んでいる。少子・高齢化が進む地域にあって、地域と一体となった校区自慢の取組である。

### ◆ 主な活動内容

朝6時半前になると集落放送でラジオ体操実施の案内が流れ、子ども会員、育成会、教職員、地域の方々が集まり始まる。体操終了後は、集落放送を活用した朝読み、朝の体力づくり、地域の清掃活動などを行っている。



【ラジオ体操】



【朝読み放送】



【朝の体力づくり】

### ◆ 活動の成果

- ラジオ体操の取組により、早寝早起きや毎日の朝食摂食などの生活リズムが身に付き、基本的な生活習慣の確立に大いに役立っている。
- 保護者世代もこの活動には小学校時代から取り組んでおり、世代を超えた取組が地域の伝統となっている。
- 子ども会育成会員が中心となった活動であるが、地域や学校職員の参加もあり、三者が連携した取組は、地域で子どもを見守り育てる支援体制の確立につながっている。
- 地域の方々にとっては、子どもの様子を知る場となり、温かい声かけが子どもたちの人間形成や人間関係づくりに大いに役立っている。
- 中学生の参加による異年齢交流や高齢者とのふれあい活動などの世代間交流が、地域の活性化にもつながっている。